

政策シート 政策名 06 芸術・文化の拠点の創造と発信

予算費目名 01 創造都市・文化振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

国内外の創造都市との連携・交流を通じて浜松市を広く発信するとともに、市民の創造的活動に対する支援、人材の育成などを通じ、文化と産業活動の連携で発展する創造都市・浜松の実現を目指す。第11回浜松国際ピアノコンクールの開催を通じて、都市ブランドとしての音楽文化の国内外への発信と交流を促進し、魅力ある音楽文化を求めて人々が集まる「音楽の都」づくりを進める。札幌市や宝塚市との青少年音楽団体や音楽文化団体相互の交流を進め、次代を担う音楽人材を育成する。浜松吹奏楽大会の開催を通じて、市民に吹奏楽の素晴らしさや楽しさに触れる機会を提供し、「音楽の都・浜松」ならではの市民文化を創造する。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,996,850	5,944,228	2,001,593			
決算	1,905,699	5,944,228				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	48,300	48,300	56,000			
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,953,999	5,992,528	2,057,593			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
音楽を始めとする市の文化事業に対する満足度	%	目標	38	39	40	41	42	43
		実績	41.5	42				
文化芸術活動拠点施設の利用者数	人	目標	-	30000	30750	31500	32250	33000
		実績	29302	17337				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

国内外の創造都市との連携・交流を通じて浜松市を広く発信するとともに、市民の創造的活動に対する支援、人材の育成などの取組を行った。ピアノコンクール事業の実施により、都市ブランドとしての音楽文化の国内外への発信と交流を促進し、魅力ある音楽文化を求めて人々が集まる「音楽の都」づくりを推進した。札幌市との青少年音楽団体や音楽文化団体相互の交流については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現地訪問ではなく、合唱及びメッセージを収録した映像を送り、札幌市イベントにおいてオンライン上で披露することで、今後の直接交流につなげることができた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、創造的な事業を数多く実施し、世界に「音楽の都・浜松」を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○浜松国際ピアノコンクール事業の実施(実施要項の公表、出場者募集受付、第10回コンクール出場者たちのピアノ・フェスティバルなど) ○札幌市と次代を担う音楽人材育成・交流を実施(札幌市へ合唱収録映像を送り、オンライン上で披露してもらった) ○アクトシティ音楽院事業を実施(浜松国際ピアノアカデミー2021開催など) ○パークリー音楽大学事業を実施(パークリー音楽大出身者によるジャズクリニックの開催) 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	音楽文化発信・交流事業	○	○	○		171,647	161,847	1.4				
2	市民音楽文化振興事業	—	○	○		34,860	27,860	1.0				
3	芸術文化人材育成事業	○	○	○		88,122	79,722	1.2				
4	多彩な文化芸術振興事業	—	—	—		6,654	1,754	0.7				
5	文化施設管理事業	—	○	○		1,724,194	1,712,294	1.7				
6	地域創造事業負担金	—	—	—		5,249	4,549	0.1				
7	文化振興基金積立金（一般諸経費のみ）	—	—	—		9,120	8,420	0.1				
8	（新規）文化推進デジタル運営経費	—	—	—		3,323	2,623	0.1				
9	文化推進運営経費（一般諸経費のみ）	—	○	○		14,424	2,524	1.7				
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						2,057,593	2,001,593	8.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 音楽文化発信・交流事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

音楽文化の国内外への発信と交流を促進することにより、魅力ある音楽文化を求めて人々が集まる“音楽の都・浜松”を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H2	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(1)ア						
重点戦略	○	(戦略項目)	178						

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの 関連性	本市の特長である音楽文化の一層の発展を目指すとともに、国内外の都市との交流を通じてその価値を高めていく事業であり、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解を促進させるものであるため。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	37,584	54,981	161,847			
	決算	22,720	54,981				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	22,720	54,981	161,847			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,400	8,400	9,800			
人工	正規	1.2	1.2	1.4			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		31,120	63,381	171,647			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
音楽を始めとする市の文化事業に 対する満足度(%)	Ⅲ- 2(1)ア		目標	38	39	40	41	42	43
			実績	41.5	42				
芸術文化情報ポータルサイト「文化 振興財団」ページビュー数			目標	500300	500300	500400	500400	500400	500500
			実績	504783	324463				
国際的音楽イベント等の開催日数 (日)		178	目標	71	72	73	74	75	76
			実績	88	21				
音楽イベントに参加する団体等の 数(団体)		178	目標	1510	1520	1530	1540	1550	1560
			実績	1260	-(中止)				
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	06	01	000620000	01	創造都市・文化振興課	影山 元紀	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.178】

浜松ならではの音楽文化を求めて多くの人々が集い、音楽文化が都市の発信と交流を推進するため、浜松国際ピアノコンクール事業をはじめとする音楽事業を実施した。

- ・浜松国際ピアノコンクール事業
(国際音楽コンクール世界連盟浜松総会をオンラインで開催、第11回コンクールの実施要項の公表、出場者募集、浜松国際ピアノコンクール出場者にたちのピアノフェスティバルの開催)
- ・浜松吹奏楽大会開催事業
(ウイズコロナにおける開催方法として、無観客での無料ライブ配信で実施)
- ・音楽文化都市交流事業
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、札幌市との交流事業は合唱に収録映像を送り、オンライン上で披露してもらった。宝塚市との交流事業は中止)
- ・さくま国際交流コンサート等開催事業
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・浜松国際ピアノコンクール事業では、国際音楽コンクール世界連盟浜松総会をオンラインで開催することで、「音楽の都・浜松」としてピアノコンクールを世界に発信できた。また、浜松国際ピアノコンクール出場者にたちのピアノフェスティバルを誘客ライブとオンライン配信のデュアルモードで実施することで、第11回浜松国際ピアノコンクールの開催に向けた機運を高めるとともに、浜松の音楽文化を全国に発信できた。
 - ・浜松吹奏楽大会については、出場校は会場にて互いの演奏を聴き合うことで、さらなる演奏技術の向上につながった。また、無観客となったが、無料ライブ配信により吹奏楽の素晴らしさや楽しさを全国に発信することができた。
 - ・音楽文化都市交流事業では、札幌市、宝塚市との直接交流はできなかったが、札幌市に合唱の収録映像を送りWEB上で公開してもらうことで今後の交流につなげることができた。
- ※さくま国際交流コンサート等開催事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染症対策を踏まえた事業内容の見直しが必要となった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

新型コロナウイルスの影響により様々な制約がある中で、ライブとオンライン配信のデュアルモードの取り組みにより、「音楽の都・浜松」として音楽文化を発信し、都市ブランドを高めることができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

より魅力的な音楽事業の開催を通し、多くの人々が集い交流することで、音楽文化を国内外に発信することにより、「音楽の都・浜松」を推進する。また、浜松国際ピアノコンクール事業においては、より多くの収入確保策を検討する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.178】

浜松ならではの音楽文化を求めて多くの人々が集い、音楽文化が都市の発信と交流を推進するため、浜松国際ピアノコンクールをはじめとする音楽事業を実施する。

- ・浜松国際ピアノコンクール開催事業(第11回浜松国際ピアノコンクール開催)
- ・浜松吹奏楽大会2022開催事業
- ・音楽文化都市交流事業(札幌市・宝塚市との交流事業)
- ・さくま国際交流コンサート等開催事業

事業シート (事業名) 02 市民音楽文化振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民を主体とした音楽事業を推進し、まちなかのにぎわいづくりに貢献する。また、企業との共催により音楽文化を振興する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S59	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	178						

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの 関連性	誰もが音楽に触れ、楽しむ機会を提供するとともに、まちなかのにぎわい創出など文化を通じた地域の発展に寄与する事業であるため。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	26,906	26,560	27,860			
	決算	26,906	26,560				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	26,906	26,560	27,860			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,300	6,300	7,000			
人工	正規	0.9	0.9	1.0			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		33,206	32,860	34,860			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
音楽をはじめとする市の文化事業 に対する満足度(%)			目標	38	39	40	41	42	43
			実績	41.5	42				
国際的音楽イベント等の開催日数 (日)		178	目標	71	72	73	74	75	76
			実績	88	21				
音楽イベントに参加する団体等の 数(団体)		178	目標	1510	1520	1530	1540	1550	1560
			実績	1260	-(中止)				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 06 01 000620000 02 創造都市・文化振興課 影山 元紀 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止となったが、開催方法を変更してWEB上でのプラタナスコンサートの実施や、感染症対策を徹底した上でオルガンミニコンサート開催事業を実施した。

【R1-R4重点戦略項目No.178】

- ・まちなかコンサート開催事業
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、プロムナードコンサート、街かどコンサート、まちなかにぎわいコンサートはすべて中止となった。
- ・企業と共催する音楽事業
プラタナスコンサートをWEB上でのオンラインコンサートに変更して開催した。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ハママツ・ジャズ・ウィークは中止となった。
- ・アクトシティ オルガンミニコンサート開催事業
オルガンの弾き込みを利用し、無料のミニコンサートを開催した。
オルガン講座「オルガンのパイプを作ってみよう！」を開催した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止となったが、事業内容の変更や感染症対策を徹底することで開催可能な事業を実施し、市民が気軽に音楽に触れ、楽しむ機会を提供することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染症対策を踏まえた事業内容の見直しが必要となった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

企業と共催する音楽事業では、WEB上でのオンラインコンサートに開催方法を変更することで、プラタナスコンサートを実施した。また、感染症対策を徹底することでアクトシティ オルガンミニコンサート開催事業を実施し、市民が気軽に音楽に触れ、楽しむ機会を提供することができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

より多くの市民が演奏し、楽しむことができる場を提供できるよう事業内容を充実していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.178】

プロムナードコンサートをはじめとするまちなかで音楽を体験する事業、ジャズ・ウィークやプラタナスコンサートなどの企業と共催する音楽事業など、市民が身近に音楽文化を楽しむ諸事業を実施する。

- ・まちなかコンサート開催事業
プロムナードコンサート、街かどコンサート、まちなかにぎわいコンサートを開催
- ・企業と共催する音楽事業
第29回ハママツ・ジャズ・ウィーク、プラタナスコンサート、中部日本吹奏楽コンクール本大会を開催
- ・アクトシティ オルガンミニコンサート開催事業
オルガンの弾き込みを利用し、無料のミニコンサートを開催
オルガン講座「オルガンのパイプを作ってみよう！」を開催

事業シート (事業名) 03 芸術文化人材育成事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

音楽文化の次の時代を担う人材を育成する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H6	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	II-2(1)イ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	178						

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの 関連性	次代の音楽文化を担う人材の育成を通じて、音楽都市としての発展を目指す事業であるため。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	100,966	93,362	79,722			
	決算	92,274	93,362				
	国・県支出						
	市債						
	その他	200	200	200			
	一般財源	92,074	93,162	79,522			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,400	8,400	8,400			
人工	正規	1.2	1.2	1.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		100,674	101,762	88,122			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
国際的音楽イベント等の開催日数 (日)		178	目標	71	72	73	74	75	76
			実績	88	21				
音楽イベントに参加する団体等の 数(団体)		178	目標	1510	1520	1530	1540	1550	1560
			実績	1260	-(中止)				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.178】

○アクトシティ音楽院事業

音楽文化振興を担う団体や個人が音楽に親しみ体験する機会を提供し、市民が気軽に参加できる音楽関連講座を開催。世界で活躍できる音楽家や音楽文化の次代を担う人材育成を実施した。

- ・パークリー音楽大学事業の実施
- ・浜松国際ピアノアカデミー2021の実施

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第26回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバルは中止となった。

○青少年音楽団体育成事業

ジュニアオーケストラ浜松、ジュニアクワイア浜松を育成するとともに、さくまジュニア吹奏楽講座を実施した。

○こども音楽鑑賞教室開催事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の小学5年生全員を対象にしたアクトシティ大ホールで音楽鑑賞教室が開催中止となったことから、過去の公演資料DVDを希望する学校に貸し出した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・アクトシティ音楽院事業では音楽文化の次代を担う人材の育成を図り、修了生である音楽家が全国で活躍している。また音楽院事業の「主催者育成セミナー」では、修了生が企画する音楽事業の開催により音楽を主体とした市民団体が生まれている。

・パークリー音楽大学出身者が高校生に講座を行うことにより、国際感覚の熟成、音楽に対するより深い理解及び演奏技術の向上を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染症対策を踏まえた事業内容の見直しが必要となった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

アクトシティ音楽院事業をはじめとした浜松が育んだ人材を市主催事業等で利活用した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

アクトシティ音楽院事業をはじめとした浜松が育んだ人材を把握するとともに、市主催事業等で積極的に利活用していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.178】

○アクトシティ音楽院事業

音楽文化振興を担う団体や個人が音楽に親しみ体験する機会を提供し、市民が気軽に参加できる音楽関連講座を開催。世界で活躍できる音楽家や音楽文化の次代を担う人材育成を実施する。

- ・第27回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバルの開催
- ・パークリー音楽大学事業の開催

○青少年音楽団体育成事業

ジュニアオーケストラ浜松、ジュニアクワイア浜松を育成するとともに、さくまジュニア吹奏楽講座を実施

○こども音楽鑑賞教室開催事業

市内の小学5年生全員を対象に、アクトシティ大ホールで音楽鑑賞教室開催

事業シート (事業名) 04 多彩な文化芸術振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の文化活動を柔軟に支援し、文化交流や多彩な文化芸術活動の振興を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S30	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの 関連性	市民の多様な文化活動に対する支援を通じて文化の振興を図る事業であるため。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	3,726	3,175	1,754			
	決算	3,128	3,175				
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,657	1,875	454			
	一般財源	1,471	1,300	1,300			
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,900	4,900	4,900			
人工	正規	0.7	0.7	0.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		8,028	8,075	6,654			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
音楽をはじめとする市の文化事業 に対する満足度(%)			目標	38	39	40	41	42	43
			実績	41.5	42				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

奨励事業や顕彰事業など浜松市の多様な文化芸術振興事業を実施する。

- ・教育文化奨励事業
教育文化奨励賞の授与と令和元年度浜松ゆかりの芸術家受賞者の顕彰事業の開催
- ・文化芸術部門発表会等出場者激励事業
文化芸術部門で地区予選等を経て全国大会に出場する団体・個人を激励



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

市民の文化活動を柔軟に支援し、奨励するとともに、市民との協働により文化の交流を図ることにより、市民の多彩な芸術文化活動を振興し、創造都市・浜松の推進を図った。

浜松市の芸術文化事業の振興を目的に、芸術文化振興と市民意識の高揚に資するため、国内外において広く活躍し、かつ将来一層の活躍が期待される本市ゆかりの若手芸術家について顕彰を行うために、令和元年度浜松ゆかりの芸術家受賞者の顕彰事業を開催した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市民団体等の主体的な活動を支援し、地域の文化活動の振興を図った。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市民団体等の主体的な活動を支援し、地域の文化活動の振興を図る。

効果を最大に高めながらコスト削減を図るため、教育文化奨励事業のうち、ゆかりの芸術家の表彰及び顕彰事業については、原則として隔年実施とする。(際立って活躍した方がいた時に大きく取り上げることで、事業を効果的に実施する。)



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

奨励事業や顕彰事業など浜松市の多様な文化芸術振興事業を実施する。

- ・教育文化奨励事業
教育文化奨励賞の授与
- ・文化芸術部門発表会等出場者激励事業
文化芸術部門で地区予選等を経て全国大会に出場する団体・個人を激励

事業シート (事業名) 05 文化施設管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の文化芸術活動の拠点である文化施設の整備を進めるほか、指定管理者による独自の工夫で、イベントや企画展の充実、住民サービスの向上を図り、多様な文化ニーズに応える。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S59	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	174	177					

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	市民の文化芸術活動の拠点である文化施設管理を行うとともに、イベントや企画展の充実、住民サービスの向上を図り、多様な文化ニーズに応える事業である。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,810,679	5,750,444	1,712,294			
	決算	1,744,470	5,750,444				
	国・県支出						
	市債		3,112,600	53,800			
	その他	8,816	459,574	523,515			
	一般財源	1,735,654	2,178,270	1,134,979			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	7,000	7,000	11,900			
人工	正規	1.0	1.0	1.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,751,470	5,757,444	1,724,194			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
アクトシティ浜松施設稼働率(%)			目標	78	78	79	79	79	80
			実績	67.8	45.3				
楽器博物館施設入館者数(人)			目標	85600	85600	85700	85700	85700	85800
			実績	82617	32523				
文化芸術活動拠点施設の利用者数(人)			目標	-	30000	30750	31500	32250	33000
			実績	29302	17337				
アクトシティ浜松改修計画策定及び改修整備		177	目標	計画策定	計画策定	改修整備	改修整備	改修整備	改修整備
			実績	計画策定	計画策定				
(仮称)市民音楽ホールの整備 整備率(%)		174	目標	5	95	100	100	100	100
			実績	5	100				

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	06	01	000620000	05	創造都市・文化振興課	影山 元紀	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.174、No.177】

- ・アクトシティ浜松管理運営事業、仮称市民音楽ホール整備事業
- ①アクトシティ浜松管理運営事業
- ②浜松市楽器博物館管理運営事業
- ③浜松文芸館管理運営事業
- ④浜松市旧浜松銀行協会(木下恵介記念館)管理運営事業
- ⑤浜松市茶室管理運営事業
- ⑥浜松復興記念館管理運営事業
- ⑦天竜ものづくり継承施設管理運営事業
- ⑧鴨江アートセンター管理運営事業
- ⑨男女共同参画・文化芸術活動推進センター管理運営事業
- ⑩市民音楽ホール管理運営事業 ⑪市民音楽ホール整備事業 ⑫文化施設整備事業



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の臨時休館もあったが、再開後は市民文化の創造拠点である各文化施設において、指定管理者による独自の工夫により、イベントや企画展の充実、住民サービスの向上を図り、コロナ禍における市民ニーズに対応した独自企画によるイベント事業を開催し高い評価を得た。

- ・浜松市鴨江アートセンターでは、「アーティスト イン レジデンス事業」を実施し、8組のアーティストが作品制作を行ったほか、50以上の講座を実施し、芸術文化の発信施設として機能し、多くの来館者が訪れた。
- ・文芸館では、様々な収蔵展及び企画展を実施し、来館者を増やすよう努めた。
- ・茶室の松韻亭においては、茶道のみならず、写経、能楽、座禅、着付けといった伝統文化教室などを市民の意見を取り上げながら開催し、好評を得た。
- ・市民音楽ホール整備事業として、建築工事を行うとともに、管理運営事業として、開館準備、予約受付等を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染症対策を踏まえた事業内容の見直しが必要となった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

アクトシティ浜松においては、音楽をはじめとする舞台芸術の拠点として、コロナ禍における工夫を凝らした文化事業を企画・実施し、本市の文化施策に寄与した。また官民複合施設という特性を活かして民間事業者と連携・協働し学会等大型コンベンションの誘致を積極的に行った。浜松市楽器博物館では、所蔵品を活かした特色ある事業を展開するとともに、講座やコンサートなど関連事業を企画・実施し、音楽文化の向上に貢献した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・今後も指定管理者による管理運営を行っていくなかで、指定管理者による独自の工夫により、イベントや企画展の充実に努め、一層の住民サービスを図っていく。
- ・アクトシティ浜松の設備改修にあたっては計画的に実施していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.174、No.177】

- ①アクトシティ浜松管理運営事業
- ②浜松市楽器博物館管理運営事業
- ③浜松文芸館管理運営事業
- ④浜松市旧浜松銀行協会(木下恵介記念館)管理運営事業
- ⑤浜松市茶室管理運営事業
- ⑥浜松復興記念館管理運営事業
- ⑦天竜ものづくり継承施設管理運営事業
- ⑧鴨江アートセンター管理運営事業
- ⑨男女共同参画・文化芸術活動推進センター管理運営事業
- ⑩市民音楽ホール管理運営事業
- ⑪市民音楽ホール整備事業
- ⑫文化施設整備事業

事業シート (事業名) 06 地域創造事業負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地域の芸術文化の振興を目的として設立された(一財)地域創造の活動を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H18	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	4,536	4,498	4,549			
	決算	4,536	4,498				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	4,536	4,498	4,549			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	700			
人工	正規	0.1	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		5,236	5,198	5,249			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 06 01 000620000 06 創造都市・文化振興課 影山 元紀 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

政令指定都市に対する分担金として、芸術文化くじ(グリーンジャンボ)の持寄額に応じた負担割合により負担し、地域の芸術文化の振興を目的として設立された(一財)地域創造の活動に対する支援を行う。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

全国の都道府県及び政令指定都市に対する分担金として、芸術文化くじの持寄額に応じた負担割合により負担し、地域の芸術文化の振興を目的として設立された(一財)地域創造の活動を支援した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
現行のとおり実施していく。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
現行のとおり実施していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

政令指定都市に対する分担金として、芸術文化くじの持寄額に応じた負担割合により負担し、地域の芸術文化の振興を目的として設立された(一財)地域創造の活動に対する支援を行う。

事業シート (事業名) 07 文化振興基金積立金(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

文化の振興を図るための事業に要する経費に充当する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S51	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	8,556	8,556	8,420			
	決算	8,456	8,556				
	国・県支出						
	市債						
	その他	8,456	8,556	8,420			
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700			
人工	正規	0.1	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		9,156	9,256	9,120			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 06 01 000620000 07 創造都市・文化振興課 影山 元紀 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

基金の積立状況

・令和2年度末基金残高:1,014,866,686円

基金の運用

・基金を運用し、その運用収入を基金に積み立てる。

※平成26年度より、音楽振興基金積立金、イベント・コンベンション振興基金積立金を文化振興基金に統合



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

文化施設整備、その他文化振興に係る事業のための財源確保に努めた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

現行どおりに、民間企業、市民等からの寄附金等を積み立て、文化の振興を図るために要する経費に充当した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

現行どおりに、民間企業、市民等からの寄附金等を積み立て、文化の振興を図るために要する経費に充当する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

民間企業、市民等からの寄附金等を積み立て、文化の振興を図るために要する経費に充当する。

事業シート (事業名) 08 (新規)文化推進デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

文化振興費におけるデジタル関連事業に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R03				

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			2,623			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			2,623			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			700			
人工	正規			0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				3,323			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
市民音楽ホール インターネット回 線整備・運用			目標			整備・運用	運用	運用	運用
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 06 01 000620000 08 創造都市・文化振興課 影山 元紀 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
市民音楽ホールへのインターネット回線を整備するとともに、回線使用料の支払いを行う。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)



市民音楽ホールへのインターネット回線を整備するとともに、回線使用料の支払いを行う。

事業シート (事業名) 09 文化推進運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

文化推進事業にかかる管理運営経費及び一般諸経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S30	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	179						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)


		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	3,897	2,652	2,524			
	決算	3,209	2,652				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,209	2,652	2,524			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	11,900	11,900	11,900			
人工	正規	1.7	1.7	1.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		15,109	14,552	14,424			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
新たな文化振興ビジョンの策定		179	目標	ビジョン策定	-	-	-	-	-
			実績	ビジョン策定	-				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.179】
文化推進事業にかかる管理運営経費及び一般諸経費を執行する。
※R1年度に新たな文化振興ビジョンを策定済み



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度
文化推進事業にかかる管理運営経費及び一般諸経費を執行した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)




6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
現行どおり、文化推進の推進にかかる管理運営経費及び一般諸経費を執行した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
現行どおり、文化推進の推進にかかる管理運営経費及び一般諸経費を執行する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

文化推進事業にかかる管理運営経費及び一般諸経費を執行する。

